

各 位

会 社 名 株式会社エッチ・ケー・エス
 代表者名 代表取締役社長 水口 大輔
 (JASDAQ・コード 7219)
 問合せ先 常務取締役財務部長 赤池 龍記
 電 話 0544-29-1111

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向および特別損失の計上等を踏まえ、平成29年10月13日に公表いたしました平成30年8月期(平成29年9月1日～平成30年8月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

平成 30 年8月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年9月1日～平成 30 年8月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,430	百万円 300	百万円 310	百万円 220	円 銭 305.03
今回実績(B)	7,317	163	221	100	138.92
増減額(B-A)	▲112	▲136	▲88	▲119	
増 減 率(%)	▲1.5	▲45.5	▲28.5	▲54.5	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 8 月 期)	7,075	203	264	191	265.48

(注)平成 30 年3月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、ガス関連受託事業が計画未達となったこと等により 7,317 百万円(当初予想比 112 百万円の減少)となる見込みです。

損益面につきましては、売上原価が当初予想に対して増加したことが要因となり、営業利益は 163 百万円(当初予想比 136 百万円の減少)となる見込みです。売上原価の増加の要因は、セールスマックスの変化により原価率の高い製品の売上が伸長したこと、上述の変化がもたらした滞留在庫の評価減を行ったこと、材料価格の上昇等があげられます。また、為替差益 17 百万円の計上等がありました。経常利益は 221 百万円(当初予想比 88 百万円の減少)となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、後述の特別損失の発生により 100 百万円(当初予想比 119 百万円の減少)となる見込みです。

3. 特別損失の計上

当社の連結対象子会社であります日生工業株式会社が埼玉県児玉郡美里町に新工場を建設したことにより、工場移転に伴い発生した固定資産除却損、設備移設費用および賃借物件の返却による原状回復費用等を含め、平成 30 年8月期の連結決算において、特別損失を 77 百万円計上いたします。

特別損失の内訳

固定資産除却損	32 百万円
設備移設費用	43 百万円
原状回復費用	1 百万円

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上